

無線通信研究委員会

SG6 会合 (ジュネーブ)

報告書

平成 29 年 3 月 31 日

目次

1. まえがき	2
2. 議事概要	2
3. SG6 会合報告	5
3.1 開会あいさつ	5
3.2 前回会合議事録の確認	6
3.3 各 WP の会合報告、出力文書審議	6
3.3.1 WP 6A 報告概要	6
3.3.2 WP 6B 報告概要	11
3.3.3 WP 6C 報告概要	14
3.4 その他の文書	18
3.4.1 CCV/SCV 関連.....	18
3.4.2 IRG-AVA, IRG-AVQA, IRG-IBB からの報告.....	19
3.4.3 その他.....	20
3.5 文書のステータス	20
3.6 2017 年の予定.....	20
3.7 閉会あいさつ	21
表 1 日本代表団 SG6 会合参加者	22
表 2 入力文書一覧(45 件)	23

1. まえがき

国際電気通信連合無線通信部門 (ITU-R) の第 6 研究委員会 (SG 6 : 放送業務) は、以下のとおり開催された。

- 開催日 : 2017 年 3 月 31 日 (金) (1 日間)
開催地 : ITU 本部 (スイス・ジュネーブ)
議長 : 西田 幸博 (日本)
副議長 : Majeed ABDULRAHMAN (レバノン)、Abdullah AL ARAIMI (オマーン)、Roger BUNCH (オーストラリア)、Christoph DOSCH (ドイツ)、Angaman KESSE (コートジボアール)、Andrew KISAKA (タンザニア)、Andrey LASHKEVICH (ロシア)、Amir Hassan NAFEZ (イラン)、Khalilou Dit Papa NIANE (セネガル) Walid SAMI (EBU)、Paolo ZACCARIAN (イタリア)、Qingjun ZENG (中国)
欠席 : Ana Eliza FARIA E. SILVA (ブラジル)、Rajiv KAPOOR (インド)
参加者 : 28 か国、12 の認められた企業や地域機関、ITU 事務局等から合わせて 79 名 (名簿登録者) が参加。
主な国または機関からの参加者数は、ブラジル 3 名、中国 10 名、フランス 1 名、ドイツ 2 名、イタリア 3 名、韓国 1 名、ロシア 2 名、英国 2 名、米国 6 名、BBC 5 名、CBS 2 名、EBU 3 名である。日本からは表 1 に示す 8 名が参加した。

2. 議事概要

今会合は今研究会期の第 3 回会合であり、3 つの WP 会合に続いて開催された。新勧告案 1 件および勧告改訂案 7 件の仮採択¹ (全てに対して PSAA を適用²)、新研究課題案 1 件の採択³、エディトリアル勧告改訂案 4 件、レポート改訂案 8 件、レポートエディトリアル改訂案 1 件、レポート廃止提案 1 件、新オピニオン案 1 件、オピニオン改訂案 1 件の承認⁴がなされた。以下に、これらを列挙する。

[1] 新勧告案(1 件)、勧告改訂案(7 件) : 8 件

- Doc.6/104 Draft new Recommendation ITU-R BS.[IRDR_FREQS] - Use of International Radio for disaster Relief (IRDR) frequencies for emergency broadcasts in the High Frequency (HF) bands
新勧告案「短波による緊急放送のための国際災害援助放送周波数の利用」
- Doc.6/121 Draft revision to Recommendation ITU-R BT.1368-12 - Planning criteria, including protection ratios, for digital terrestrial television services in the VHF/UHF bands

¹ 厳格に表現すれば「採択・承認手続きに進めることに合意した」ということになるが、これを「仮採択」と表記することにする。

² 会合後に、新勧告案または勧告改訂案に対して SG での採択と構成国による承認を同時に実施する手続きが PSAA(Procedure for Simultaneous Adoption and Approval)。詳細は決議 ITU-R 1-7 の § A.2.6.2 を参照。SG 会合で構成国からの反対意見が無い限り PSAA による。但し、無線通信規則が参照している勧告は 2 段階手続き。

³ 新研究課題案は SG 会合の後、構成国による承認手続き、または RA により承認される。

⁴ 勧告のエディトリアル改訂、レポートの改訂・廃止、新オピニオン案・オピニオンの改訂は SG 会合で承認される。

勧告 BT.1368-12 「VHF/UHF 帯の地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」改訂案

- Doc.6/128 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2077-1 - Real-time serial digital interfaces for UHD TV signals

勧告 BT.2077-1 「UHD TV 信号のリアルタイム・シリアル・デジタルインタフェース」改訂案

- Doc.6/134 Draft revision of Recommendation ITU-R BS.2076-0 - Audio Definition Model

勧告 BS.2076-0 「音響定義モデル(ADM)」改訂案

- Doc.6/135 Draft revision of Recommendation ITU-R BS.2094-0 - Common definitions for the audio definition model

勧告 BS.2094-0 「音響定義モデルの共通定義」改訂案

- Doc.6/106 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2095-0 - Subjective assessment of video quality using expert viewing protocol

勧告 BT.2095-0 「専門家による映像品質の主観評価法」改訂案

- Doc.6/112 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2100-0 - Image parameter values for high dynamic range television for use in production and international programme exchange

勧告 BT.2100-0 「制作および国際的な番組交換のために使用する高ダイナミックレンジテレビ(HDR-TV)の映像パラメータ値」改訂案

- Doc.6/114 Draft revision of Recommendation ITU-R BS.2051-0 - Advanced sound system for programme production

勧告 BS.2051-0 「番組制作のための先進的音響システム」改訂案

[2] 新研究課題案 : 1 件

- Doc.6/116(Rev1) Draft new Question ITU-R [AIAV]/6 - Advanced Immersive Audio-Visual (AIAV) systems for programme production and exchange for broadcasting

新研究課題案 「番組制作と交換に関する放送のための高度没入型映像音響システム」

[3] エディトリアル勧告改訂案 : 4 件

- Doc.6/120 Draft Editorial revision to Recommendation ITU-R BT.1832-0 - Digital video broadcast-return channel terrestrial (DVB-RCT) deployment scenarios and planning considerations

勧告 BT.1832-0 「DVB-RCT の展開とプランニングにおける考慮事項」エディトリアル改訂案

- Doc.6/133 Draft editorial revision to Recommendation ITU-R BT.2075-1 - Integrated broadcast-broadband systems

勧告 BT.2075-1 「放送通信連携システム」エディトリアル改訂案

- Doc.6/137 Draft editorial revision to Recommendation ITU-R BS.2088-0 - Long-form file format for the international exchange of audio programme materials with metadata

勧告 BS.2088-0 「メタデータ付音声番組素材の国際交換のための長形式音声ファイル形式」エディトリアル改訂案

- Doc.6/110 Editorial update to Recommendation ITU-R BT.601 - Proposed footnote to the title of Recommendation ITU-R BT.601

勧告 BT.601 「標準 4:3 およびワイドスクリーン 16:9 のアスペクト比のデジタルテレビのスタジオエンコードパラメータ」エディトリアル改訂案

[4] 新レポート案：2 件

- Doc.6/129 Draft new Report ITU-R BT.[GLOBAL PLATFORM] - Usage scenarios, requirements and technical elements of a global platform for the broadcasting service

新レポート案「グローバルプラットフォームのユースケース・要求条件・技術要素」

- Doc.6/113 Draft new Report ITU-R BS.[ATTRIBUTES] - Methods for selection attributes and terms for describing them, in the preparation of subjective tests

新レポート案「主観評価の準備における評価語や用語の記述方法と選定方法」

[5] レポート改訂案：8 件

- Doc.6/122 Draft revision to Report ITU-R BT.2252-2 - Objective quality coverage assessment of digital terrestrial television broadcasting signals of Systems A, B and D

レポート BT.2252-2 「地上デジタル放送のシステム A、B および D の信号に関する客観的なカバレッジ品質評価」改訂案

- Doc.6/123 Draft revision of Report ITU-R BT.2299-1 - Broadcasting for public warning, disaster mitigation and relief

レポート BT.2299-1 「公衆への警報周知、災害の軽減・防止のための放送」改訂案

- Doc.6/125 Draft revision to Report ITU-R BT.2254-2 - Frequency and network planning aspects of DVB-T2

レポート BT.2254-2 「DVB-T2 の周波数プランニングとネットワーク」改訂案

- Doc.6/127 Draft revision to Report ITU-R BT.2337-0 - Sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and terrestrial mobile broadband applications, including IMT, in the frequency band 470-694-698 MHz

レポート BT.2337-0 「470-694/698MHz における地上デジタル放送と IMT を含む広帯域移動アプリケーションとの共用検討」改訂案

- Doc.6/136 Draft revision of Report ITU-R BS.2388-0 - Usage guidelines for the audio definition model and multichannel audio files
レポート BS.2388-0「音響定義モデルと多チャンネル音響ファイルのユーザーガイド」改訂案

- Doc.6/108 Draft revision of Report ITU-R BT.2380-0 - Television colorimetry elements
レポート BT.2380-0「TV カラーメトリの要素」改訂案

- Doc.6/109 Draft revision of Report ITU-R BT.2246-5 - The present state of ultra-high definition television
レポート BT.2246-5「UHDTV の現状」改訂案

- Doc.6/115 Draft revision of Report BT.2390-1 - High dynamic range television for production and international programme exchange
レポート BT.2390-1「番組制作と国際的な番組交換のための HDR-TV」改訂案

[6] レポートエディトリアル改訂案：1 件

- Doc.6/130 Draft editorial revision of Report ITU-R BT.2267-6 - Integrated broadcast-broadband systems
レポート BT.2267-6「放送通信連携システム」エディトリアル改訂案

[7] レポート廃止提案：1 件

- Doc.6/124 Suppression of ITU-R Reports in the BT-series
BT シリーズレポートの廃止（レポート BT.802-3、BT.804-0 の廃止を提案）

[8] 新オピニオン案（1 件）、オピニオン改訂案（1 件）：2 件

- Doc.6/105 Draft new Opinion ITU-R [XXX] - The activation of radio broadcasting receivers in smart/mobile telephones and tablets

新オピニオン案「スマートフォンやタブレットにおけるラジオ受信機の有効化」

- Doc.6/111 Draft revision of Opinion ITU-R 102 - The use of UHDTV and/or HDR-TV image systems in television image capture to post-produce HDTV programmes of improved picture quality

オピニオン ITU-R 102「HDTV の映像品質を改善するための映像撮影における UHDTV や HDR-TV の映像システムの使用」改訂案

3. SG6 会合報告

3.1 開会あいさつ

始めに SG6 議長より、今研究会期の第 3 回目の ITU-R SG6 会合を開会するとの挨拶が述べられた。

開会に際して、無線通信局（BR）局長の Rancy 氏、SG6 議長の西田氏より次の挨拶があった。

Rancy BR 局長

この10年は地デジ移行の10年であった。SG6の活動にITU-Rは感謝する。また、WP6Aによる中央アメリカおよびカリブ地域の地デジ移行へ向けたサポートに感謝する。第一地域（イラン含む）はGE06プランにより、地デジ移行を促進することができた。しかし、その他の地域には同様のプランがないため、個別のコーディネーションが必要となる。その意味でWP6Aの支援には大変感謝する。1927年に設立されたCCIRが、今年11月に誕生90周年を迎える。SG6がこの間に確立した国際規格（SDTV、HDTV、UHDTV）は非常に大きかった。皆さんをこの場に迎えられたことを嬉しく思う。SG6の成功を祈る。

西田氏（SG6 議長）

今年はSG6（旧SG10/SG11）にてデジタルTVの研究を開始し始めて45年となる。前回のSG6会合でもお伝えしたが、SG6にとって大切な三点を以下に繰り返す。

- 1) 放送こそが、最も効果的に映像、音声、データを一般大衆へ届けられる配信手段である。
- 2) SG6は引き続き、放送技術を国際標準化していく先駆者で在り続けなければならない。
- 3) 放送サービスに新たな技術を積極的に取り入れていく必要がある。是非、積極的な審議への参加と、放送の未来を創るための貢献をお願いしたい。

Arasteh氏（イラン）は、今回のSG6会合にKrivosheev氏（SG6名誉議長）が来られていないが、体調面も含めた同氏の近況をロシアが把握しているかと尋ねた。これに対しSG6議長は、同氏が次のSG6会合（2017年10月）に参加を表明していると伝えた。さらにロシアが、同氏の健康状態は良好であり、現在モスクワに居て別の会合に参加していることと、次のSG6会合には参加する予定であることを伝えた。

3.2 前回会合議事録の確認

SG6議長より、文書<6/94(Rev.1)>に基づき、昨年10月に開催された前SG6会合のSummary Recordが紹介された。異議なくNotedされた。

3.3 各WPの会合報告、出力文書審議

3.3.1 WP6A 報告概要

3.3.1.1 WP6A 議長の報告

- Doc.6/132 (Rev2) Executive Report of the meeting of Working Party 6A (Geneva, 20 -29 March 2017)

「WP6Aの報告」

WP6A議長のNafez氏（イラン）は今回のWP6A会合について以下の通り総括を行った。

WP6A は、テレビジョン、保護、共用、その他、音声の 5 つのグループで構成され、SG6 に 10 件の出力文書を提出した。内訳は、新勧告案、新オピニオン案、勧告の改訂案が 1 件ずつ、レポートの改訂案が 4 件、レポートの廃止案が 1 件、そしてリエゾン文書案が 2 件である。

また、SG6 に上程していないテキストとして、他の Working Party へのリエゾン文書が 7 件、RG の設置、継続が各 1 件（設置：中央アメリカとカリブ海地域の周波数調整関連、継続：WRC-19 議題関連）、その他、多数の議長レポート添付文書を作成した。

3.3.1.2 新勧告案・勧告改訂案

- Doc.6/104(Rev1) Draft new Recommendation ITU-R BS.[IRDR_FREQS] - Use of International Radio for disaster Relief (IRDR) frequencies for emergency broadcasts in the High Frequency (HF) bands

新勧告案「短波による緊急放送のための国際災害援助放送周波数の利用」

2016年10月の前会合および今会合にて HFCC（短波周波数調整会議）が寄書入力した、国際災害救援放送（IRDR: International Radio for Disaster Relief）周波数としてリザーブすべき短波放送用周波数を指定する新勧告案である。

イスラエル、イランより、“keyword” に記載する用語は正式名称を先に書き、その後に略称を括弧つきで記載すべきであるというエディトリアルな指摘があり、反映された。

その他の異論はなく、新勧告案が仮採択された（PSAA）。

- Doc.6/121(Rev1) Draft revision to Recommendation ITU-R BT.1368-12 - Planning criteria, including protection ratios, for digital terrestrial television services in the VHF/UHF bands
勧告 BT.1368-12「VHF/UHF 帯の地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」改訂案

2016年10月の前会合で、第1世代の地上デジタルTV方式の混信保護比が記載された勧告に、Annex 4 の DTMB 部分へ帯域幅 7MHz の混信保護比を追加することと、新たな Annex5 として DTMB-A の混信保護比（帯域幅 8MHz のみ）を追加することが中国より提案され、議長レポート添付となっていた。

異論なく改訂が仮採択された（PSAA）。

3.3.1.3 ITU-R テキストの廃止

- Doc.6/124 Suppression of ITU-R Reports in the BT-series

BT シリーズレポートの廃止（レポート BT.802-3、BT.804-0 の廃止を提案）

内容の古くなった BT シリーズのレポート廃止提案である。

レポート	題名	発行
BT.802-3	Additional services using broadcasting channels	1990
BT.804-0	Definitions of parameters for automatic measurement of television insertion test signals	1978

カウンセラーの Hai 氏は、レポートが廃止されても ITU-R のウェブサイト上で参照できると補足した。

異論なく廃止が承認された。

3.3.1.4 レポート改訂案

- Doc.6/122 Draft revision to Report ITU-R BT.2252-2 - Objective quality coverage assessment of digital terrestrial television broadcasting signals of Systems A, B and D

レポート BT.2252-2 「地上デジタル放送のシステム A、B および D の信号に関する客観的なカバレッジ品質評価」改訂案

2016 年 10 月の前会合にて、日本よりシステム C (ISDB-T) のカバレッジ品質評価の情報を追記する改訂を提案し、継続審議のためレポート改訂草案として議長レポート添付となっていた。

異論なく改訂が承認された。

- Doc.6/123 Draft revision of Report ITU-R BT.2299-1 - Broadcasting for public warning, disaster mitigation and relief

レポート BT.2299-1 「公衆への警報周知、災害の軽減・防止のための放送」改訂案

2016 年 10 月の前会合にて、NABA (North American Broadcasters Association) がスマートフォンの FM 受信機能に関する改訂を提案し、継続審議のため改訂草案に向けた作業文書として議長レポート添付となっていた。また、今会合で日本が災害時における放送継続のための取組事例として、非常用送信車の情報を追加し、2 つの提案を一つにまとめたレポート改訂案である。

イスラエルは、新たに追加する Annex 5M (FM radio in mobile phones) は 3 ページと短いため、電子ファイルの埋め込みではなく、本文に展開した方が読みやすいとコメントした。WP6A 議長が対応可能であると回答し、修正することとなった。

また、Free TV Australia は、Annex 5M の TABLE 1 で「Apple 社の iPhone は FM 受信機能を持つチップを搭載しているが、機能が有効化されていない」と記載していることについて、ITU が特定の機種についてこのような記載をするべきではない、とコメントした。それに対してイスラエル、ドイツ、米国は、TABLE1 が示しているのは一般的な情報であり、ITU の立場を示すものではないと反論し、修正は行わないこととなった。

その他の異論はなく改訂が承認された。

- Doc.6/125 Draft revision to Report ITU-R BT.2254-2 - Frequency and network planning aspects of DVB-T2

レポート BT.2254-2 「DVB-T2 の周波数プランニングとネットワーク」改訂案

2016 年 10 月の前会合で議長レポート添付となった EBU の改訂提案 (ガードインターバル長の修正) に加え、今会合でオマーンが入力した情報 (DVB-T2 導入状況の紹介) と CBS が入力した改訂提案 (用語解説の脚注追記) を一つの改訂提案としてまとめたものである。

オマーンの寄書による DVB-T2 の送信所の諸元を表す TABLE 2 について、イスラエルは” Radiated power ERP (W)” とは何を示しているのかと質問し、オマーンは、送信機自体の出力ではなく、アンテナから輻射される ERP について記載していると回答した。

また、イランは、GE06 加盟国（モンゴルを除く第一地域とイラン）にオマーンも含まれるが、TABLE2 の送信周波数と出力は GE06 合意に適合している値かと質問し、オマーンは適合した値であると回答した。

その他の異論はなく改訂が承認された。

- Doc.6/127 Draft revision to Report ITU-R BT.2337-0 - Sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and terrestrial mobile broadband applications, including IMT, in the frequency band 470-694-698 MHz

レポート BT.2337-0 「470-694/698MHz における地上デジタル放送と IMT を含む広帯域移動アプリケーションとの共用検討」改訂案

2015 年 8 月に SG6 から SG5 および WP5D へ、レポート ITU-R BT.2337 「470-694/698MHz における地上デジタル放送と IMT を含む広帯域移動アプリケーションとの共用検討」の修正案をリエゾン送付したが、返信がない状態が続いている。そこで、レポート改訂案とそれに伴うリエゾン文書を SG5 および WP5D へ送付することが提案された。

Free TV Australia は、米国とカナダが BT.2337 の承認にリザベーションをかけていることを示す脚注 2 を削除するよう求め、イスラエルも賛同した。米国は、脚注の削除については本会合で議論すべきことではなく、さらにカナダが本会合に出席していないため、米国の意見だけで脚注を変更することはできないとコメントした。それに対して、イランは、消極的な姿勢の米国と今会合に参加していないカナダを批判した。

議長は、リザベーションをかけた当事国が応じないようでは、脚注の修正または削除はできないとし、米国に対して各国から出た意見を真摯に受け止め、再度検討するよう求めた。

その後、イタリアおよびイランから、米国とカナダのリザベーションは改訂前のレポートに対してであり、改訂後の本レポートに対して脚注を継続記載することはできないのではないかと、との質問があった。ここで 20 分の休憩を取り、カウンセラーの Hai 氏がガイドラインを確認することとなった。再開後、Hai 氏は、今回のケースでは脚注を変更することはできないと回答した。

議論の結果、脚注 2 はそのままとし、新たに脚注 3 を付記することで米国を含め各国の合意が得られた。脚注 3 では、今会合で米国が脚注 2 の削除に反対し、カナダが不在であったこと、米国とカナダに対して改訂後のレポートの見解を示すことが記載された。

脚注 3 に記載する米国の反対意見については、会合後に米国より Hai 氏（カウンセラー）に送付されることになり、米国の個別意見であるため、無条件で反映することとなった。

上記の議論を経て、改訂が承認された。

- Doc.6/126 Draft liaison statement to Study Group 5 - Draft revision of Report ITU-R BT.2337 - Sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and terrestrial mobile broadband applications, including IMT, in the frequency band 470-694/698 MHz

SG5 へのリエゾン文書案

レポート ITU-R BT.2337 の改訂について通知する、SG5 へのリエゾン文書である。

WP6A 議長の提案で、Contact は SG6 を代表して Arasteh 氏（イラン）が務めることとなった。

異論なく リエゾン文書送付が承認された。

3.3.1.5 新オピニオン案

- Doc.6/105 Draft new Opinion ITU-R [XXX] - The activation of radio broadcasting receivers in smart/mobile telephones and tablets

新オピニオン案「スマートフォンやタブレットにおけるラジオ受信機の有効化」

2016 年 10 月の前会合で議長レポート添付となっていた、スマートフォンやタブレットにおけるラジオ受信機能のアクティベーションに関する新オピニオン案である。

イスラエルは、一般的にオピニオンは ITU-R に属するものであり、SG6 に属するものではないのではないかと質問し、カウンセラーの Hai 氏は、SG6 に属するものであると回答した。また、ドイツは、新オピニオン案周知のためプレスリリースしてはどうかと提案し、WP6A 議長は賛同の意を示した。

異論なく 新オピニオン案が承認された。

3.3.1.6 その他の文書

- Doc.6/119 (WP 6A) Draft liaison statement to the CCV on the definition of "Pixel"

“Pixel”の定義に関する CCV へのリエゾン文書案

WP6C が定義した “pixel” の CCV へ向けたリエゾン文書案である。内容は以下のとおりである。

Term (and context)	Definition	Example of source
Pixel (in digital imagery)	The smallest element of a sampled television picture that can be assigned an individual value of brightness and colour.	Recommendation ITU-R BT.709

イスラエルは、WP6C の所掌である画素を表す “pixel” の定義について WP6A から CCV へリエゾン送付するのは違和感があり、本リエゾンの文中で WP6A にて議論している小さなエリアを表す “pixel” についても言及するべきであると述べた。それに対して議長は、このリエゾンは WP6A ではなく SG6 から送付するものであり、当初は 2 つの “pixel” の定義を一つのリエゾン文書にまとめて送付する予定であったため、このような形になったと説明した。また WP6A 議長も、本リエゾン文書に WP6A で議論している “pixel” の話を記載するのは混乱を招くとして反対した。

また Free TV Australia は、“pixel” が輝度と色相を持つというのは正しい表現なのかと質問し、WP6C 議長は、“pixel” を表す方法はいろいろあり、詳細な情報を加えると複雑になるので、このような定義としていると回答し、Free TV Australia も納得した。

その他の異論なく リエゾン文書送付が承認された。

なお、SG6 議長は、他の Working Party から CCV へのリエゾン文書と合わせて1つの文書にまとめた形で送付すると補足した。

以上で WP6A からの提出文書に関する審議が終了し、WP6A 議長から WP6A の全ての参加者、副議長、SG6 議長、カウンセラーに感謝の意が示された。

議長はそれに応え、会場からの拍手で SG6 における WP6A 審議は幕を閉じた。

3.3.2 WP 6B 報告概要

3.3.2.1 WP6B 議長の報告

- Doc.6/138 (Chairman, WP 6B) Executive Report of the meeting of Working Party 6B (Geneva, 27 - 30 March 2017)

「WP6B の報告」

Paul Gardiner (英国) WP6B 議長が Doc.6/138 に基づき、3 日半の WP6B 会合の概要を以下のように報告した。

前回議長レポートに添付された継続審議文書を含めて全部で 59 の入力文書を審議し、24 の出力文書を作成、その内の 10 の文書を SG6 に提出しており、それらは、勧告改訂案 3 件、エディトリアル勧告改訂案 3 件、新レポート案 1 件、レポート改訂案 1 件、エディトリアルレポート改訂案 1 件、CCV へのリエゾン文書案 1 件である。多くの継続審議となった文書、ラポータ・ラポータグループ等の活動に関する文書も議長レポートに記載してある。審議においては、“番組関連情報、インターフェース、グローバルプラットフォーム”、“放送通信連携システム、クローズドサイニング、IoT”、“音響関連（符号化、ストリーミング、音響メタデータ、ファイル形式）”の 3 つの SWG が設立され、非常に効率的に進められた。

3.3.2.2 勧告改訂案

- Doc.6/128 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2077-1 - Real-time serial digital interfaces for UHD TV signals

勧告 BT.2077-1 「UHD TV 信号のリアルタイム・シリアルデジタル・インタフェース」改訂案

勧告 BT.2100 に規定された HDR-TV に対応できるようにペイロード ID を変更したこと、Part 3 の CWDM 光 I/F で短い波長を使用するように変更したことが主要変更点であることが説明された。

修正無く、改訂が仮採択された (PSAA)。

- Doc.6/134 Draft revision of Recommendation ITU-R BS.2076-0 - Audio Definition Model

勧告 BS.2076-0 「音響定義モデル」改訂案

マトリックス音響に対する新たなメタデータ記述子の追加、シーンベース音響システムに関する規定の記載内容の充実化を図ることを主要変更点とする勧告 BS.2076 の改訂案である。

修正無く、改訂が仮採択された (PSAA)。

- Doc.6/135 Draft revision of Recommendation ITU-R BS.2094-0 - Common definitions for the audio definition model

勧告 BS.2094-0 「音響定義モデルの共通定義」改訂案

HOA (Higher Order Ambisonic)のチャンネルやパックに対する新たな共通定義の追加や勧告 BS.2051 や勧告 BS.2076 の改訂に伴う ‘DirectSpeakers’ に対する定義の更新を主要変更点とする勧告 BS.2094-0 の改訂案である。

修正無く、改訂が仮採択された (PSAA)。

3.3.2.3 勧告エディトリアル改訂案

- Doc.6/120 Draft Editorial revision to Recommendation ITU-R BT.1832-0 - Digital video broadcast-return channel terrestrial (DVB-RCT) deployment scenarios and planning considerations

勧告 BT.1832-0 「DVB-RCT の展開とプランニングにおける考慮事項」エディトリアル改訂

考慮事項 f)に digital divide という用語が使用されており、CCV でデータベースに追加されたこの用語に対する定義を脚注に追加する改訂案である。

エディトリアル改訂案として、修正無く改訂が承認された。

- Doc.6/133 Draft editorial revision to Recommendation ITU-R BT.2075-1 - Integrated broadcast-broadband systems

勧告 BT.2075-1 「放送通信連携システム」エディトリアル改訂案

勧告 BT.2075-1 に規定されているシステム”HTML5-based Smart TV Platform”を”TOPSmedia” (“TV Open Platform for Smart media” の略語) に名称変更する改訂案である。

エディトリアル改訂案として、修正無く改訂が承認された。

- Doc.6/137 Draft editorial revision to Recommendation ITU-R BS.2088-0 - Long-form file format for the international exchange of audio programme materials with metadata

勧告 BS.2088-0 「メタデータ付音声番組素材の国際交換のための長形式音声ファイル形式」エディトリアル改訂案

BW64 音声ファイル形式のチャンクオーダリングに新たな説明を追加することを変更点とする改訂案である。

エディトリアル改訂案として、修正無く改訂が承認された。

3.3.2.4 新レポート案・レポート改訂案

- Doc.6/129 Draft new Report ITU-R BT.[GLOBAL PLATFORM] - Usage scenarios, requirements and technical elements of a global platform for the broadcasting service

新レポート案「グローバルプラットフォームのユースケース・要求条件・技術要素」

WP6B 議長より、研究課題 140/6 に対する回答の一部になるものであり、前回会合では、要求条件に関するレポート草案と要求条件が技術要素に与えるインパクトに関するレポート草案の2つに分かれて作成されていたが、それらを1つにまとめて、グローバルプ

ラットフォームのユースケース、要求条件、技術要素を記載した新レポート案としたことが説明された。

米国から、我々は新レポート案に反対の立場であり、それを示すリザーベーションの脚注を付ける権利がある旨の発言があり、下記のテキストが読み上げられた。

The Administration of the United States of America does not support the approval of this Report. The Report in its current form is merely a concept paper and provides little description of a specific technical goal. In fact, the paper identifies the global platform as being very similar to some current broadcasting platforms. The Administration of the United States of America therefore does not believe it should have a place along with other technical reports of the ITU-R.

議長より、どのようなステートメントでも記載する自由があるという旨と、新レポート案の承認に反対しなかったことに感謝する旨の発言があった。

上記の脚注付きの状態で、新レポート案が承認された。

(レポート ITU-R BT.2400 となった。)

- Doc.6/130 Draft editorial revision of Report ITU-R BT.2267-6 - Integrated broadcast-broadband systems

レポート BT.2267-6 「放送通信連携システム」 エディトリアル改訂案

勧告 BT.2075-1 のエディトリアル改訂案と同様に、“HTML5 based Smart TV Platform”を“TOPSmedia”に、“Cloud broadcasting standard”を“COPSmedia” (“Cloud TV Open Platform for Smart media”の略) に名称変更する改訂案である。

エディトリアル改訂案として、修正無く 改訂が承認された。

- Doc.6/136 Draft revision of Report ITU-R BS.2388-0 - Usage guidelines for the audio definition model and multichannel audio files

レポート BS.2388-0 「音響定義モデルと多チャンネル音響ファイルのユーザーガイド」改訂案

“programme preambles” の処理方法に関する新たな情報を追加する他、Hexadecimal Codes、Timing Attributes、Block Sizes for Dynamic Objects に関する記載内容の明確化を図ることを主要変更点とする改訂案である。

修正無く 改訂が承認された。

3.3.2.5 その他の文書

- Doc.6/131 Draft liaison statement from Study Group 6 to the CCV terms, acronyms and definitions

SG6 から CCV へのリエゾン文書案「用語、頭字語・略語、定義」

SG6 から CCV へのリエゾン文書として送付するために作成された文書である。内容的には、勧告 BT.1832 に digital divide という用語が使用されているので、この用語の Source にこの勧告を追加できること、“MPEG media transport (MMT)” は勧告 BT.2075 だけではなく、勧告 BT.2074 においても使用されていること、CCV に関する SG6 レポートからの寄書に記載されていた定義のない略語、頭文字について ITU 以外でどのような意味で使用されているかを参考情報の位置付けで提供する内容になっている。

WP6A 議長より、本日承認されたレポート BT.2254 の改訂案には、digital divide や digital switchover が多く使用されており、CCV へのリエゾン文書に Source として情報追加すべきかの判断は SG6 会合に任せたい旨の発言があった。

議長から、CCV へのリエゾン文書にレポート BT.2254 を digital divide や digital switchover の Source に追加可能であることを記載する旨の発言があった。さらに、WP6B 議長に対して略語を CCV のデータベースに入れてもらうことを意図しているかとの質問があり、WP6B 議長から、CCV でのデータベースに入れるためにはその定義は ITU 文書に基づく必要があり、ここに記載しているものは用語や略語に対する ITU 外で使用されている定義や意味合いを情報収集したものなので、純粋に参考情報の位置付けで提供することを意図している旨の説明があった。

本文書に記載された内容は了承され、リエゾン文書送付が承認された。

以上で、WP6B 提出の文書審議は終了した。

WP6B 議長から、短期間で多くの成果を出せたことを嬉しく思っており、協力の精神で効率的な審議を行ってくれた参加者に感謝していること、特に、激務の SWG 議長を務めてくれた青木氏（日本）、Dosch 氏（ドイツ）、Dare 氏（オーストラリア）に感謝している。また、カウンセラーの Hai 氏や効率的に文書発行をしてくれたセクレタリのスタッフ、適切なガイダンスをしてくれた西田 SG6 議長に感謝する旨の発言があった。

議長より、WP6B の開催期間は 3 日+1/4 日という短期間であったが、そのなかで、非常に効率的に、しかも内容のある多くの出力文書を作成した。その成果を称え、参加者の皆様とともに拍手を贈りたい旨の発言があり、拍手で WP6B に関する審議は終了した。

3.3.3 WP 6C 報告概要

3.3.3.1 WP6C 議長の報告

- Doc.6/117 (Chairman, WP 6C) Executive Report of the meeting of Working Party 6C (Geneva, 20th to 24th March 2017)

「WP6C の報告」

WP6C 議長の Andy Quested 氏（BBC）から Doc.6/117 に記載されている WP6C 会合報告について簡単に報告された。61 件の寄与文書と議長レポート添付となっていた 14 件を審議した。

作業量が多い中、同様のトピックを一つの SWG で作業するようにした。音響関連の SWG は一つにマージし、映像品質評価の他、HDR と映像は専門家 2 人で分担し、HDR という一つのテーマに集中したことでスピードアップに繋がった。HDR は 75 件の入力文書の約 1/3 を扱った。

また、AIAV という新しい分野を研究する新しい SWG を立ち上げ、幾つかの寄与を共同ラポータが審議し、後に紹介する新研究課題を完了させた。

最後に、清水 WP6C 副議長が面倒を見てくれたことで驚くほど作業が捗り多くの処理ができ、出力文書 11 件を SG6 で審議することが紹介された。

3.3.3.2 新研究課題案

- Doc.6/116 Draft new Question ITU-R [AIAV]/6 - Advanced Immersive Audio-Visual (AIAV) systems for programme production and exchange for broadcasting

新研究課題案「番組制作と交換に関する放送のための高度没入型映像音響システム」

前会合から今会合までに共同レポートによる作業に加え、有志による参加もあった。レポートのレポートのレビューの他、議長レポート添付となっていた新研究課題草案が日本及び CBS の寄与文書を基に修正され新研究課題案として SG6 に上程された。

清水 WP6C 副議長の指摘により、decides の 4 項目に記載の” access” を” assess” に書き換えられた。

その他コメントなく 新研究課題が採択された（主管庁による承認手続きへ）。

3.3.3.3 勧告改訂案

- Doc.6/106 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2095-0 - Subjective assessment of video quality using expert viewing protocol

勧告 BT.2095-0「専門家による映像品質の主観評価法」改訂案

専門家による観視プロトコルを用いた主観画質評価法に関する勧告 BT.2095 が規定する評価法を用いて MPEG が画質評価実験を行なった。その結果を Annex2 として勧告に追加する勧告改訂案である。勧告で規定している手続きや評価者とスコアの関係などを補足する情報であり Annex2 の追加は有用と言える。

イタリアが、この Annex の追加が単純な情報追加ならばエディトリアル改訂案となり得るのではないかとコメントしたが、本件は単純な情報追加としては扱えないため通常の勧告改訂案の手続きとして進めると SG6 議長がコメントした。

改訂が仮採択された（PSAA）。

- Doc.6/112 Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2100-0 - Image parameter values for high dynamic range television for use in production and international programme exchange

勧告 BT.2100-0「制作および国際的な番組交換のために使用する高ダイナミックレンジテレビ(HDR-TV)の映像パラメータ値」改訂案

HDR-TV のパラメータに関する勧告 BT.2100 の改訂案である。

前回会合から今回までの間に RG24 が大きな課題について研究し、夜遅くまで電話やウェブで確認作業を行った結果、勧告改訂に結びついた。改訂の内容は一見多く見えるが、その多くは本質に影響のない数式とプロセスの変更であり、他の標準化組織との連携をとり、一般に普及しているデータレンジなどを反映させている。Informative な補足情報の一部は勧告から削除し、後に示すレポート BT.2390 改訂案に反映させている。

2 ページ目に記載されていた 2 つの主官庁からのオブザベーションによる脚注(footnote)は削除された。その代わりに、以前の勧告を参照していたユーザーのために改訂後の値との比較を促すコメントを追加した。また、勧告本文の 2 ページ目にレポート BT.2390 を参照するようコメントを追加した。

変更箇所が全てレビューされ、反対意見なく 改訂が仮採択された（PSAA）。

- Doc.6/114 Draft revision of Recommendation ITU-R BS.2051-0 - Advanced sound system for programme production

勧告 BS.2051-0「番組制作のための先進的音響システム」改訂案

放送用に使われてきた2つのスピーカー配置の追加、システム G(4+9+0)における上層のラウドスピーカー配置の変更、日本寄書 6C/204 を基にした further recommend の追加、新しい補足情報 Appendix2 の追加が行われた勧告改訂案である。

① further recommend について

イランより、further recommend の第一項目に記載されている“…further work should be conducted…”とは研究することを指しており、研究課題ならば理解できるが勧告本文に書く文言ではないと指摘された。

SG6 議長及び WP6C 議長より、この項目は既に発行されている勧告に存在する文言ではあるものの、いずれ修正されるべきではあるとし、混乱を避けるため今回はこのまま勧告化し、SG6 議長レポートに WP6C はこの勧告を将来的に見直すという趣旨の記述を残すことで合意を得た。

また、further recommend は勧告主文の一部であり、その前の“and”の記載は不要であるというイランからの指摘に従い“and”は削除された。

② Appendix について

イランより、通常勧告では“Appendix”という表現は使われないため、皆が合意できるなら“Attachment”に書き換えてはどうかとのコメントが述べられた。

SG6 議長も、確かに最新のガイドラインでは“Annex”か“Attachment”を使うことになっていると返答した。

WP6C 議長は、既にこの勧告の中に Appendix1 が存在しており、修正を加えるだけなので Appendix2 を追加したが、合意があれば“Attachment”への修正も可能とし、特に反対意見はなかったため本文中で Appendix を参照している部分も含め注意を払って修正作業することを前提に勧告改訂案は仮採択された。Appendix から Attachment への修正作業は Hai 氏（カウンセラー）と WP6C 議長が行う。

改訂が仮採択された (PSAA)。

3.3.3.4 勧告エディトリアル改訂案

- Doc.6/110 Editorial update to Recommendation ITU-R BT.601-7 - Proposed footnote to the title of Recommendation ITU-R BT.601

勧告 ITU-R BT.601-7「標準 4:3 およびワイドスクリーン 16:9 のアスペクト比のデジタルテレビのスタジオエンコードパラメータ」エディトリアル改訂案

勧告 BT.601 に Standard definition television (SDTV)の脚注を加えただけのエディトリアル勧告改訂案である。特に異論なく承認された。

改訂が承認された。

3.3.3.5 新レポート案・レポート改訂案

- Doc.6/108 Draft revision of Report ITU-R BT.2380-0 - Television colorimetry elements

レポート BT.2380-0「TV カラーimetリofの要素」改訂案

Dosch 氏（ドイツ）と Gofaizen 氏（ウクライナ）が中心となって作成されたカラリメトリに関するレポートの改訂案である。

Dosch 氏より、3 つの Annex とこれら Annex の参考文献の章を追加したことが紹介された。

非常に分量が多く、多くの労力を費やして作成された。カバーページの修正箇所リストを確認することで全文についての承認がなされた。

改訂が承認された。

- Doc.6/109 Draft revision of Report ITU-R BT.2246-5 - The present state of ultra-high definition television

レポート BT.2246-5 「UHDTV の現状」改訂案

日本寄書(6C/202)に基づいて作成された“日本の UHDTV 放送の現状に関する情報”を追加するレポート改訂案である。

SG6 に送られた文書にワード編集時の不体裁が残っていたが、特に問題なく承認された。

改訂が承認された。

- Doc.6/113 Draft new Report ITU-R BS.[ATTRIBUTES] - Methods for selection attributes and terms for describing them, in the preparation of subjective tests

新レポート案「主観評価の準備における評価語や用語の記述方法と選定方法」

ITU には数多くの音声品質評価法に関する勧告が存在する。これらの勧告には非常に多くの情報が記載されているにもかかわらず、何が数値化されているのかを特定して解説してはいなかった。本レポートは音声の主観評価実験をする人がより一貫性を持ってテストできるように、実験の属性をまとめたものである。セクションごとにレビューされた。

イランより、タイトルに them という表現を使うのは不格好なので表現を変えてはどうかとコメントが述べられ、以下のとおりタイトルが変更された。

Draft new Report ITU-R BS.[ATTRIBUTES] - Methods for selection attributes and describing terms ~~for describing them~~, in the preparation of subjective tests

上記変更が加えられ、**新レポート案が承認された。**

(レポート ITU-R BS.2399 となった。)

- Doc.6/115 Draft revision of Report BT.2390-1 - High dynamic range television for production and international programme exchange

レポート BT.2390-1 「番組制作と国際的な番組交換のための HDR-TV」改訂案

HDR-TV に関するレポート BT.2390 の改訂案である。勧告 BT.2100 の改訂に伴い BT.2100 から削除された PQ と HLG の変換に関するパートが本レポートに加えられている。

反対意見はなく**改訂が承認された。**

3.3.3.6 オピニオン改訂案

- Doc.6/111 Draft revision of Opinion ITU-R 102 - The use of UHD TV and/or HDR-TV image systems in television image capture to post-produce HDTV programmes of improved picture quality

オピニオン ITU-R 102「HDTV の映像品質を改善するための映像撮影における UHD TV や HDR-TV の映像システムの使用」改訂案

UHD TV 規格化のタイミングで改訂されたオピニオン ITU-R 102 の更なる改訂案であり、UHD TV、HDR-TV 制作機器を用いて制作することにより、HDTV 番組映像の品質が向上するという内容の文書である。

特に意見なく改訂が承認された。

3.3.3.7 その他の文書

- Doc.6/107 Draft liaison statement of Study Group 6 to the CCV on the definition of "Chromaticity"

"Chromaticity"の定義に関する CCV へのリエゾン文書案

CBS の寄与文書に基づく“Chromaticity”の定義を SG6 から CCV へ通知するリエゾン文書である。

リエゾン文書送付が承認された。

最後に WP6C 議長から会合が驚くほど捗ったことに対し、セクレタリへの感謝と各議長への謝辞が述べられ、Sharepoint の活用が手助けになったことも説明された。

SG6 議長から、いつも作業の進め方や研究に新たなアイデアを導入する WP6C 議長のチャレンジ精神に対して謝辞が述べられ、WP6C 関連の審議は終了した。

3.4 その他の文書

3.4.1 CCV/SCV 関連

- Doc.6/95 Reply liaison statement to ITU-R Study Group 6, (copy to ITU-R Study Group 1, Coordination Committee for Vocabulary (CCV) and Standardization Committee for Vocabulary (SCV)) - Proposal to add Broadcasting terms to the ITU Terminology Database

WP1B から SG6 へのリエゾン返書

SG6 から CCV および SCV に対して送付したリエゾン文書に対する返信である。

放送用語(Digital switchover、Digital dividend、Digital divide)を ITU 用語データベースへ追加するよう、CCV および SCV へ要望することに賛成する内容である。

既に合意されており、今会合で出力されたレポートにも反映されている。

Notedとした。

- Doc.6/97 Liaison statement to ITU-R Study Group 6 and ITU-R Working Party 1B - Definitions for digital divide, digital dividend and digital switchover

ITU-R SG6 および WP 1B へのリエゾン文書

“digital divide”、“digital dividend”、“digital switchover” の 3 用語について、SG6 と WP1B の間で合意した定義を ITU 用語データベース(パート 3)へ追加登録することを伝えている。

Noted とした。

- Doc.6/101 On the definitions of "pixel" in broadcasting

「放送における” Pixel” の定義について」

“Pixel” の定義について、ディスプレイの pixel 以外にも、放送カバレッジエリアの野外測定などで使用する地形の小さなプロットを pixel と表現しており、それらの定義の明確化を提案するものである。

本案件は、WP6C で審議された後 WP6A で審議され、WP6A では、放送カバレッジエリア関連の定義については検討の時間を設けるために WP6A 議長レポート添付、WP6C から提案のディスプレイ関連の定義については合意された。

既に WP6A と WP6C で審議された案件であり、**Noted** とした。

- Doc.6/102 Report of the Study Group 6 Rapporteur to the CCV

「SG6 ラポータから CCV への用語の定義に関する報告」

既に各 WP で審議された案件であり、**Noted** とした。

3.4.2 IRG-AVA, IRG-AVQA, IRG-IBB からの報告

- Doc.6/96 Liaison statement on collaboration

協力体制に関するリエゾン文書

IRG-AVA から、ITU-D SG1 Q7/1 に対する IRG-AVA 参加に関するリエゾン文書で、ITU-R SG6 が For Information の送付先に入っている。

既に WP6C において情報として了知した案件である。**Noted** とした。

- Doc.6/98 Report of the IRG-AVA meeting (Geneva, 19 January 2017)

「2017 年 1 月に開催された IRG-AVA の会合報告」

既に WP6C において情報として了知した案件である。**Noted** とした。

2017 年 3 月と 7 月に次会合が開催される予定であり、近く新たな報告を受け取る予定である。

- Doc.6/99 Report of the seventh meeting of IRG-IBB

「IRG-IBB 第 7 回会合の報告」

既に WP6B において情報として了知した案件である。**Noted** とした。

3.4.3 その他

- Doc.6/100 Proposals for a reorganized and extended version of the preliminary draft new Question on virtual-reality

「VR 新研究課題草案の再構築・拡張版の提案」

新研究課題草案 BT.[AIAV]に対して、研究課題の再構成・拡張を提案するものである。既に各 WP で審議され、新研究課題案が合意された。特段の意見無く、**Noted**とした。

- Doc.6/103 Proposed new Opinion of Study Group 6 - The activation of radio receivers in smart phones

SG6 新オピニオン提案「スマートフォンにおけるラジオ受信機能の有効化」

IAB(International Association of Broadcasting) は NABA(North America Broadcasters Association)の提案を支持し、スマートフォンにおけるアナログやデジタルのラジオ受信機能を有効にすることは、災害時の警報周知の側面から全ての国民にとって有益であるとしている。

既に WP6A で審議され、新オピニオン案が合意された。

特段の意見無く、**Noted**とした。

- Doc.6/118 Proposed suppression of Guides to ITU-R Recommendations regarding the Broadcasting Services

「放送業務に関する ITU-R 勧告ガイドの廃止提案」

“Guides to ITU-R Recommendations regarding the broadcasting services” の廃止提案である。作成された以降は更新されていない。

現在は、新しいデータベースファシリティーを利用するようになった。

特段の意見なく、**廃止が承認された**。

3.5 文書のステータス

- Doc.6/1(Rev.1) (Chairman, SG 6) Assignment of texts to the Study Group 6 Sub-Groups

「SG6 の各 WP に割り当てられた文書一覧」

SG6 議長より、前回会合から更新されておらず、今後、セクレタリと共に更新したいと説明があった。**Noted**とされた。

3.6 2017 年の予定

Hai 氏（カウンセラー）から次会合（2017 年 10 月）のスケジュールが以下の通り紹介された。

WP 6A	10/3 - 10/11
WP 6B	10/9 - 10/12
WP 6C	10/2 - 10/6
SG 6	10/13

3.7 閉会あいさつ

SG6 会合の閉会にあたり、各氏より以下のあいさつがあった。

Lashkevich 氏（ロシア）

名誉議長 Krivocheev 氏に代わり、今会合の功績を称え全出席者に感謝を申し上げます。SG6 議長へも全ての素晴らしい功績を称えたいと思います。

Dosch 氏（SG6 副議長・ドイツ）

SG6 副議長として申し上げます。SG6 議長が全ての WP に参加し、アドバイスをされていることに感銘を受けると共に、感謝を申し上げます。

そして皆様さようなら、また次回 10 月会合でお会いしましょう。

Arasteh 氏（イラン）

SG6 副議長の後に申し上げにくいですが、各 WP の議長に対して今会合の功績を称えたいと思います。また、SG6 へ出席の皆様へも感謝申し上げます。新しい顔ぶれ、若い世代を歓迎します。

SG6 は ITU の主要機関であり続けることを信じております。そして放送は廃れることはないと思っています。これまでと変わることなく重要な活動を続けていきましょう。皆様ありがとうございます。次回会合でお会いしましょう。

西田氏（SG6 議長）

今会合における多くの寄与に感謝いたします。しかしながら我々の任務は続きます。皆様からの寄与をお願いすると共に、放送サービスについてのビジョンを共有しましょう。

今会合に出席頂いた皆様へ感謝申し上げます。同時通訳者の皆様、Hai 氏、セクレタリ、我々を支えてくださった皆様へ感謝いたします。

次回 10 月会合にて皆様とお会いすることを楽しみにしています。SG6 を閉会致します。

以上で SG6 会合は終了した。

以上

表 1 日本代表団 SG6 会合参加者

佐々木 智昭	総務省 情報流通行政局 放送技術課 国際係
根岸 聡	日本放送協会 技術局計画部 副部長
三谷 将	日本放送協会 技術局計画部
西田 幸博	日本放送協会 放送技術研究所テレビ方式研究部 研究主幹
成清 善一	日本放送協会 放送技術研究所伝送システム研究部
清水 勉	(一社)日本民間放送連盟 (株式会社 TBS テレビ 技術局 JNN 技術戦略部 担当部長)
甲斐 創	(一社)日本民間放送連盟 (日本テレビ放送網株式会社 技術統括局技術開発部 主任)
武田 篤	(一社)日本民間放送連盟 (株式会社フジテレビジョン 総合技術局 IT 技術センターデジタル技術推進部 兼務 技術センター技術開発部 部長職)

表 2 入力文書一覧(45 件)

	入力文書 番号 (6/)	提出元	題 名	措 置
1	[94 Rev1]	Chairman, SG 6	Summary record of the second meeting of Radiocommunication Study Group 6 (Geneva, 28 October 2016)	Noted
2	[95]	WP 1B	Reply liaison statement to ITU-R Study Group 6, (copy to ITU-R Study Group 1, Coordination Committee for Vocabulary (CCV) and Standardization Committee for Vocabulary (SCV)) - Proposal to add Broadcasting terms to the ITU Terminology Database	Noted
3	[96]	ITU-T IRG- AVA	Liaison statement on collaboration	Noted
4	[97]	CCV	Liaison statement to ITU-R Study Group 6 and ITU-R Working Party 1B - Definitions for digital divide, digital dividend and digital switchover	Noted
5	[98]	Co-Chairmen ITU-T IRG- AVA	Report of the IRG-AVA meeting (Geneva, 19 January 2017)	Noted
6	[99]	Co-Chair, IRG-IBB	Report of the seventh meeting of IRG-IBB	Noted
7	[100]	CBS Corporation	Proposals for a reorganized and extended version of the preliminary draft new Question on virtual-reality	Noted
8	[101]	Italy , Vatican City State	On the definitions of "pixel" in broadcasting	Noted
9	[102]	SG 6 Rapp. to the CCV	Report of the Study Group 6 Rapporteur to the CCV	Noted
10	[103]	International Association of Broadcasting	Proposed new Opinion of Study Group 6 - The activation of radio receivers in smart phones	Noted
11	[104 Rev1]	WP 6A	Draft new Recommendation ITU-R BS.[IRDR_FREQS] - Use of International Radio for disaster Relief (IRDR) frequencies for emergency broadcasts in the High Frequency (HF) bands	PSAA
12	[105]	WP 6A	Draft new Opinion ITU-R [XXX] - The activation of radio broadcasting receivers in smart/mobile telephones and tablets	承認
13	[106]	WP 6C	Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2095 - Subjective assessment of video quality using expert viewing protocol	PSAA
14	[107]	WP 6C	Draft liaison statement of Study Group 6 to the CCV on the definition of "Chromaticity"	承認
15	[108]	WP 6C	Draft revision of Report ITU-R BT.2380 - Television colorimetry elements	承認
16	[109]	WP 6C	Draft revision of Report ITU-R BT.2246-5 - The present state of ultra-high definition television	承認
17	[110]	WP 6C	Editorial update to Recommendation ITU-R BT.601 - Proposed footnote to the title of Recommendation ITU-R BT.601	承認

	入力文書 番号 (6/)	提出元	題 名	措 置
18	[111]	WP 6C	Draft revision of Opinion ITU-R 102 - The use of UHD TV and/or HDR-TV image systems in television image capture to post-produce HDTV programmes of improved picture quality	承認
19	[112]	WP 6C	Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2100-0 - Image parameter values for high dynamic range television for use in production and international programme exchange	PSAA
20	[113]	WP 6C	Draft new Report ITU-R BS.[ATTRIBUTES] - Methods for selection attributes and terms for describing them, in the preparation of subjective tests	承認
21	[114]	WP 6C	Draft revision of Recommendation ITU-R BS.2051-0 - Advanced sound system for programme production	PSAA
22	[115]	WP 6C	Draft revision of Report BT.2390-1 - High dynamic range television for production and international programme exchange	承認
23	[116 Rev1]	WP 6C	Draft new Question ITU-R [AIAV]/6 - Advanced Immersive Audio-Visual (AIAV) systems for programme production and exchange for broadcasting	採択
24	[117]	Chairman, WP 6C	Executive Report of the meeting of Working Party 6C (Geneva, 20th to 24th March 2017)	Noted
25	[118]	Chairman, SG 6	Proposed suppression of Guides to ITU-R Recommendations regarding the Broadcasting Services	承認
26	[119]	WP 6A	Draft liaison statement to the CCV on the definition of "Pixel"	承認
27	[120]	WP 6B	Draft Editorial revision to Recommendation ITU-R BT.1832 - Digital video broadcast-return channel terrestrial (DVB-RCT) deployment scenarios and planning considerations	承認
28	[121 Rev1]	WP 6A	Draft revision to Recommendation ITU-R BT.1368-12 - Planning criteria, including protection ratios, for digital terrestrial television services in the VHF/UHF bands	PSAA
29	[122]	WP 6A	Draft revision to Report ITU-R BT.2252-2 - Objective quality coverage assessment of digital terrestrial television broadcasting signals of Systems A, B and D	承認
30	[123]	WP 6A	Draft revision of Report ITU-R BT.2299 - Broadcasting for public warning, disaster mitigation and relief	承認
31	[124]	WP 6A	Suppression of ITU-R Reports in the BT-series	承認
32	[125]	WP 6A	Draft revision to Report ITU-R BT.2254-2 - Frequency and network planning aspects of DVB-T2	承認
33	[126]	WP 6A	Draft liaison statement to Study Group 5 - Draft revision of Report ITU-R BT.2337 - Sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and terrestrial mobile broadband applications, including IMT, in the frequency band 470-694/698 MHz	承認

	入力文書 番号 (6/)	提出元	題 名	措 置
34	[127]	WP 6A	Draft revision to Report ITU-R BT.2337 - Sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and terrestrial mobile broadband applications, including IMT, in the frequency band 470-694-698 MHz	承認
35	[128]	WP 6B	Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2077-1 - Real-time serial digital interfaces for UHD TV signals	PSAA
36	[129]	WP 6B	Draft new Report ITU-R BT.[GLOBAL PLATFORM] - Usage scenarios, requirements and technical elements of a global platform for the broadcasting service	承認
37	[130]	WP 6B	Draft editorial revision of Report ITU-R BT.2267-6 - Integrated broadcast-broadband systems	承認
38	[131]	WP 6B	Draft liaison statement from Study Group 6 to the CCV - Terms, acronyms and definitions	承認
39	[132 Rev2]	Chairman, WP 6A	Executive Report of the meeting of Working Party 6A (Geneva, 20 -29 March 2017)	Noted
40	[133]	WP 6B	Draft editorial revision to Recommendation ITU-R BT.2075-1 - Integrated broadcast-broadband systems	承認
41	[134]	WP 6B	Draft revision of Recommendation ITU-R BS.2076-0 - Audio Definition Model	PSAA
42	[135]	WP 6B	Draft revision of Recommendation ITU-R BS.2094-0 - Common definitions for the audio definition model	PSAA
43	[136]	WP 6B	Draft revision of Report ITU-R BS.2388-0 - Usage guidelines for the audio definition model and multichannel audio files	承認
44	[137]	WP 6B	Draft editorial revision to Recommendation ITU-R BS.2088-0 - Long-form file format for the international exchange of audio programme materials with metadata	承認
45	[138]	Chairman, WP 6B	Executive Report of the meeting of Working Party 6B (Geneva, 27 - 30 March 2017)	Noted
(注) Noted:情報として取り扱った文書				